

平成三十一年度 長野県中野西高等学校入学式 式辞

厳しい冬の寒さもようやく過ぎ去り、北信濃 中野の地にも、柔らかい陽ざしの中に春の訪れを感じる季節が巡ってきました。

この、すべての命輝く春の佳き日に、日頃から本校に格段のご配意をいただいておりますご来賓の皆様並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、平成31年度長野県中野西高等学校入学式を挙行できますこと、誠にありがたく、厚く御礼を申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました、200名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは人生の中で避けて通ることの出来ない試練の一つをみごとに乗り越え、中野西高等学校の36期生となります。ようこそ、中野西高等学校へ。心から歓迎します。

本校は、地域の熱い期待のもと、生徒急増期の新設校として昭和59年に開校しました。本校の校歌の作詞者は23歳で芥川賞を受賞した丸山健二氏であり、丸山氏はモチーフにイヌワシを取り上げ、「イヌワシのように誇り高く、自主性のある力強い人間になってほしい」という強い願いを込めて、「イヌワシの歌」と名付けられました。校歌の作曲者はジブリ作品で有名かつ現在大活躍の「久石譲」こと藤澤守氏です。

新進気鋭の方々によって本校の立ち上げが支えられ、本校は常に新しいチャレンジを試みてまいりました。

開校当時から続くゴミを集めながら、より多くのポイントとそこに設定された問題を解くことを競うクリーンオリエンテーリングという学校行事もその一つです。そして、平成27年には県内高校初のユネスコスクールに認定されました。ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、「持続可能な開発のための教育(ESD)」の拠点となる学校です。このESD活動は地球的課題を自分のこととしてとらえ、自分のできることから取り組むことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出す活動であり、持続可能な社会の担い手を育む活動です。

今、世の中は大きく動いています。少子高齢化はすすみ、グローバルに競い合い、AI(人工知能)やロボット技術に代表される技術革新はめざましく、近い将来、第四次産業革命の波が押寄てくると言われています。平成から令和へ元号も新たまる日を目前にして、このような時代を乗り切って生き抜くためには、従来の知識をより多く蓄積する、いわゆるインプットの学びから身につけた知識をもとに、自分で考え、話し合い、表現するアウトプットの学びが必要となってまいります。

そのためには、日々の授業をまず大切にして、基礎・基本をしっかりと身につけてください。クラスやクラブ、生徒会、ESD活動などに積極的に取り組んで、仲間と協働し、コミュニケーションをとりながら人間関係を広げてください。多くの人と関わった経験が先の見通せないこれからの時代に立ち向かう勇気を与えてくれるでしょう。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠にありがとうございました。これまで陰

になり日向になって育てて来られたお子様が、義務教育を終えて晴れの高校入学を迎え、感慨もひとしおかと拝察いたします。お子様が、本校での様々な活動を通じて、自ら人生を切り拓いてゆく力を身に付けられますよう、私ども教職員一同、全力を尽くしてまいりますので、何とぞ本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますとともに、よりよい学校を共に創るパートナーとして手を携えてくださいますようお願い申し上げます。

入学生の皆さんの、これから本校で過ごす日々が、皆さんの輝ける未来に向けた希望を育むものであることを願い、イヌワシが翔ぶが如く成長できることを期待して、式辞といたします。

平成31年4月5日

長野県中野西高等学校長 宮原 弘匡